

JICA (Japan International Cooperation Agency) とは

国際協力機構(JICA)は、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的として設立された独立行政法人です。政府開発援助(ODA)として、技術協力(技術研修員の受入れ、専門家の派遣、機材の供与、開発調査など)、有償資金協力、無償資金協力、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアなどの派遣、災害緊急援助などを実施しています。

<JICAは国際協力や開発教育支援を通じて、地域の『元気』を応援しています>

●JICA中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト

開発途上国や国際協力について考えていることを、400字詰原稿用紙4枚以内(中学生は3枚以内)にまとめて応募してください。毎年5月から9月にかけて募集します。上位入賞者には副賞として夏休みに約1週間の海外研修旅行の機会が与えられます。

●国際協力実体験プログラム

生徒・学生及び指導教師を対象に、国際協力について理解を深める機会を提供しています。平和や国際協力について、また、国際災害援助や防災協力について、ワークショップや技術研修員との交流会をまじえた開発教育支援事業・国際理解(多文化共生)教育支援事業を実施しています。

●JICA国際協力出前講座

開発途上国の実情を知り、国際協力の必要性を理解していただくため、JICAが職員や専門家・青年海外協力隊などの経験者を講師として派遣します。

●JICA技術研修員の学校訪問

開発途上国から来日中のJICA技術研修員を、国際理解と交流のため学校へ派遣します。

●JICA兵庫訪問プログラム

JICAの活動をご紹介します。JICA兵庫館内をご案内します。講義と体験型プログラムを組み合わせることで、より国際協力への理解を深めることができます。

●研修コースの一般公開

皆様に身近な国際協力の現場である研修事業をご自身の目で実際に見ていただき、また研修員と交流していただき、途上国の現状やJICAの協力等について理解を深めていただく機会を提供するため、毎年、技術研修コースを視察するJICA研修モニターを実施しています。

●パンフレット・ビデオなどの提供

国際協力やJICA事業について紹介した各種パンフレットを準備していますので、ご請求ください。また、学校などの団体に対しては、ビデオ・パネルを貸出しています。

●JICAホームページ(<http://www.jica.go.jp/>)

エッセイコンテストや青年海外協力隊などの各種募集情報、開発教育に関する情報、ニュースレターなど、JICA発信の最新情報が見られるほか、開発途上国に関する情報のデータベースも利用できます。※国際協力に関する各種情報を掲載したメールマガジンも配信(無料)しています。購読希望の方は <http://www.jica.go.jp/mail/index.html> にアクセスし、登録してください。

お問合せ先: JICA兵庫 Tel. (078)261-0341(代)
<http://www.jica.go.jp/hyogo/>

※JICA兵庫のイベント情報は、季刊JICA兵庫ニュースレター「ひょうごこくさいこうさてん」とJICA兵庫HPに掲載しているほか、HAT神戸国際メールマガジン(月刊)にも掲載しています。
→http://www.hyogo-ip.or.jp/jp/info/info06_b.htm

第 5 回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー 研修項目

①2008年8月11日(月)

13:00-14:30 パネルディスカッション

「グローバルな問題をなぜ考えるのか、いかに学ぶのか」

人権・貧困・平和など、地球的な課題をなぜ教室で教える必要があるのか。また、児童・生徒が主体的に参加しながら学ぶには、どのような工夫をすればよいのか。教育の現場と国際協力の現場で活躍してきたパネリストが語り合います。

パネリスト 藤野 達也 (PHD協会総主事代行・開発教育協会理事)
丸山 一則 (美方郡香美町立柴山小学校教頭)
向井 一朗 (JICA 兵庫 業務課課長)



14:40-16:10 分科会セッション I

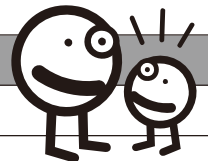
a 教室で学ぶ 子どもの権利	b 沖縄と難民	c 「豊かに共生する心」をはぐくむ
<p>佐藤 友紀 (開発教育協会 理事)</p> <p>わたしたちは自分が大切にされていると感じることで、権利の大切さに気づきます。「わたし」の大切な権利は？同じ地球にすむ「あなた」の大切な権利は？写真や「権利の宝箱」を使い、教室で子どもの権利について学ぶ活動を体験します。</p>	<p>中尾 秀一 (難民事業本部関西支部支部長代行)</p> <p>1945年、戦火を逃れて避難する沖縄の人々はどういった苦難を経験したのか。60年以上経たない現代のアジア、アフリカの紛争地帯で、難民はどういった苦難を経験しているのか。沖縄の歴史から、現代の難民問題を考えます。</p>	<p>伊井 直明 (子ども多文化共生センター主任指導主事)</p> <p>県内の子ども多文化共生教育にかかる現状と課題を理解するとともに、どうすればすべての児童・生徒に「豊かに共生する心」をはぐくむことができるのか、ワークショップをとおして、ともに考えます。</p>

16:20-17:00 まとめの時間

初日の学びや教育現場での実践を分かち合います。

17:00-18:00 参加者交流会(希望者のみ)

主催団体の活動や教材など実践に役立つ情報を紹介します。(軽食を準備します。ただし、飲食代は自己負担です。)



②2008年8月12日(火)

13:00-14:30 分科会セッション II

a ○○を使った授業の効果的な手法	b 楽しく学ぶ防災・リサイクル	c 貧しい村を支援する方法
<p>上之山 幸代 (セラピスト・学校心理士)</p> <p>「何を伝える？」 授業で話すときの基本的なテクニックから進行方法まで、アプローチする実践的で使えるワザがいっぱいの講座です。</p>	<p>永田 宏和 (NPO 法人プラス・アーツ理事長)</p> <p>使わなくなったおもちゃやアクセサリ、絵本などを交換するシステム「かえっこバザール」と防災訓練を組み合わせ、国際協力や世界の問題を「楽しみながら知恵や技を伝える」体験型のワークショップキャラバンの手法を学びます。</p>	<p>藤野 達也 (PHD協会総主事代行・開発教育協会理事)</p> <p>世界各地には様々な問題が存在しています。なかでも貧困は大きな課題です。その支援のために、日本から対象地域に調査に入った気分、どうしたらいいかを考えるシミュレーションです。</p>

14:40-16:10 分科会セッション III

a 食卓の牛肉から見える世界	b なんでも?!100円ショップ	c ポーポキ、平和ってなに色？
<p>丸山 まり子 (奈良県安堵町立安堵小学校教諭・開発教育協会大阪運営委員)</p> <p>あなたが食べている牛肉はどのように生産され、あなたのもとに届くのでしょうか？食肉の仕事は、その国や地域の文化・くらしと深く関わっています。私たちの食生活を環境・人権の視点で見直してみましょう。</p>	<p>友前 尚子 (京都府立中丹養護学校教諭・開発教育協会大阪運営委員)</p> <p>私たちの生活には大量のモノがあふれ、大量のモノを消費しています。ここでは、身近な100円ショップを通して、自分の消費生活と世界とのつながりについて、グループディスカッションやランキングなどをしながら考えます。</p>	<p>ロニー・アレクサンダー (神戸大学大学院国際協力研究科教授)</p> <p>平和について問いかける猫ポーポキの絵本を出発点、一人一人が自分の五感で「平和」を捉え、「平和」の多面性と豊かさ、大切さを実感しながら、自分と社会の平和に繋ぐワーク。(今夏、訪問国イスラエルでのポーポキ活動の報告も行います。)</p>

16:20-17:00 クロージング・セッション

2日間のセミナーを振り返り、明日からの実践にどう活かすのか考えます。

2009年度 教師海外研修(ベトナム)応募用紙

ふりがな			性別	生年月日		年齢
名前			<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	19	年 月 日	満 歳
本人現住所	〒□□□-□□□□		Tel.			
	e-mailアドレス:		Fax.			
渡航時の連絡先	〒□□□-□□□□		Tel.			
	(続柄:)		Fax.			
ふりがな			職名			
所属学校名(正式名称)			担当教科			
学校住所	〒□□□-□□□□		Tel:			
			Fax:			
趣味・特技						
JICA事業への参加経験	1. JICA主催の研修や会議へ参加したことがありますか? <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 2. (1. であると答えた方) 何の研修や会議にいつ参加しましたか? (参加事業名: _____ 時期: _____)					
アレルギー・病気		過去の申込経験		海外渡航の経験		
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<input type="checkbox"/> ある		<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
ある場合は、詳しくお書きください。		_____年度 (西暦表記)		_____年 国名 _____		
		<input type="checkbox"/> ない		_____年 国名 _____		
外国語会話	○をつけてください	会話が堪能	意思疎通が可能	簡単な日常会話	できない	写真 (4×3cmまたは4.5×3.5cm) 裏面に名前を記入
	英語					
	資格:					
	語					
私は、募集要項記載事項をすべて承諾し、この研修の参加を申し込みます。						
2009年		月	日	名前	Ⓔ	

海外研修への応募動機及び研修に期待することについてお書きください。

これまでの国際理解教育及び開発教育への取り組みについてお書きください。(校務で国際理解教育を担当している方は、その旨明記してください。)

今回の海外研修の体験を、今後の教育活動にどのように活かしていくか、その計画や方法を具体的に説明してください。

本研修のことをどのようにして知りましたか。

- 職場（1. 上司から奨められた。 2. 同僚から奨められた。 3. 直接募集要項を受け取った。 4. 募集要項が回覧・掲示されていた。）
- JICA（1. JICA兵庫 2. JICAホームページ 3. JICA国際協力推進員）
- 教育委員会 各種研究会（名称： _____）
- その他（具体的に： _____）

所属学校長の推薦

以上の理由により、上記の者が独立行政法人国際協力機構主催の教師海外研修に参加することを推薦します。

2009年 月 日

学校名 _____ 校長 _____ 名前 _____ (印)

